

# AUSTRALIA QLD

～FM NACK5 高校生海外スポーツ研修プログラムに参加して～

慶應義塾女子高等学校 富沢菜々

私は8月17日から23日までオーストラリアのクイーンズランド（QLD）州でのスポーツ研修に参加しました。オーストラリアでの活動は1つ1つがとても新鮮で、沢山の刺激を受けた1週間でした。研修を通して学んだことを紹介したいと思います。

## 1. 日本人と外国人の性格の違い

研修の中で、QLD州立の高校に1日体験入学したのですが、その時に感じたのが生徒たちの積極性と自由さでした。

まず学校に入ってすぐすれ違う生徒たちが声をかけてくれたり、授業中あちこちから手が挙がったり、自ら日本語で自己紹介をしてくる子がいたりと生徒たちの積極性に驚かされました。1日を通して感じたのは、とにかくみんな自己表現が得意だということで、これは日本ではあまり見られないように思います。

そして、それと同時に自由さも感じました。驚くべきことに、ある体育の授業中に徐々に参加人数が減っていったのです。各自が好きな時に休憩を取っていたからなのですが、日本にはない光景に驚かされました。

また、夜にみんなでサーファーズパラダイスを散歩していたら、人だかりができていて、路上でダンスパフォーマンスをしている日本人を発見しました。英語がとても上手というわけではありませんでしたが、伝えようとする姿勢が受け入れられていました。出身国や言語関係なく楽しめる温かい雰囲気と人々の陽気さを感じました。

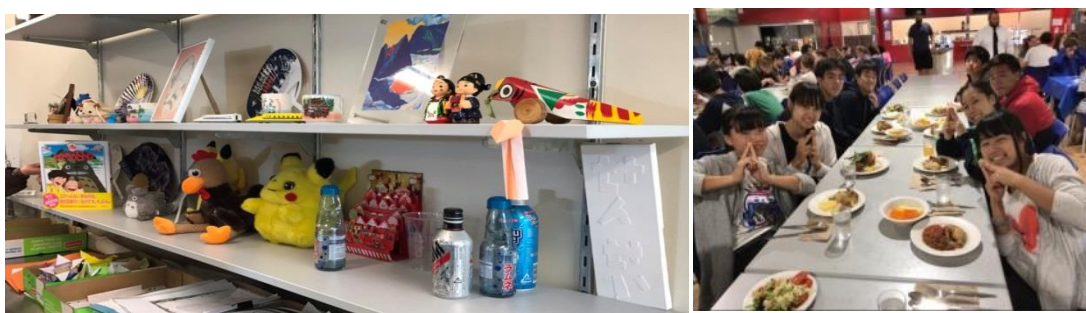
日本の文化・雰囲気を当然のように思っていた私は、この経験から、自分の置かれている状況をあたり前のように思っはいけないと感じました。



## 2. 多様な文化の流入

スポーツセンターの食事を感じたのは、様々な文化への対応でした。肉が出るが多かったのですが、宗教の関係で豚や牛が食べられない人がいることを考慮して鶏肉が使われていました。また、私たちのためかしょうゆ風味の味付けがあったり、逆に米が出たけれど日本のものとは全く違うものだったりといろいろな文化に配慮した食事が多かったです。これは、人や物の動きが活発になったことにより世界各地で多様な文化が見られるようになったことを示しています。私たちも、いろいろな文化への知識とそれに対応する力を身につけないといけないということを学びました。

また、体験入学先の高校で日本語の授業があったのですが、教室に日本のものがたくさん置かれていて、日本の文化が受け入れられていること、日本語を学ぼうとしてくれる人がいることをとても嬉しく思いました。



## 3. スポーツの素晴らしさ

スポーツセンターでの空き時間はほとんどビーチバレーをしていたのですが、研修生の8人だけでなく同じ日にスポーツセンターに泊まっていた外国人ともやることができました。“Let's play volleyball together!”の一言だけですぐにみんなでやることになり、英語が上手く話せなくても、バレーボールを通してみんなで楽しく過ごして仲良くなることができました。そこで感じたのがスポーツの素晴らしさです。体を動かす楽しさは世界共通なので、言葉が伝わらなくても楽しみを共有できる、スポーツとはまさにそれ自体が世界共通の言語のように感じました。また、ミスしても笑って励ましてくれる仲間や外国人の温かさも感じました。私はスポーツがあまり得意ではないので、特に苦手なスポーツでは楽しみより不安が大きかったのですが、この研修を通して、スポーツにおいては上手くやるよりも楽しむことのほうが大切だと思えるようになりました。



## ★まとめ★

ここに書いたように、この研修では単に楽しむだけではなく沢山のことを学びました。帰国してから、学校の外国人の先生と積極的に話せるようになったり、異文化に興味をもって留学生とその国について話すようになったりと、自分の中に変化が生まれました。これからは、研修で学んだことを自分の中だけでなく周りの人にも伝えていきたいと思っています。その結果、海外に興味を持つ人が増えて、より多くの人々が世界のことをもっと知るきっかけになればいいなと思います。そして、埼玉が、日本人が海外に出て活躍するのを引っ張っていく存在になれば嬉しいです。

